

Elazzo

SEAT COVER



TOYOTA

ALPHARD

VELLFIRE

ALPHARD HYBRID

VELLFIRE HYBRID

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

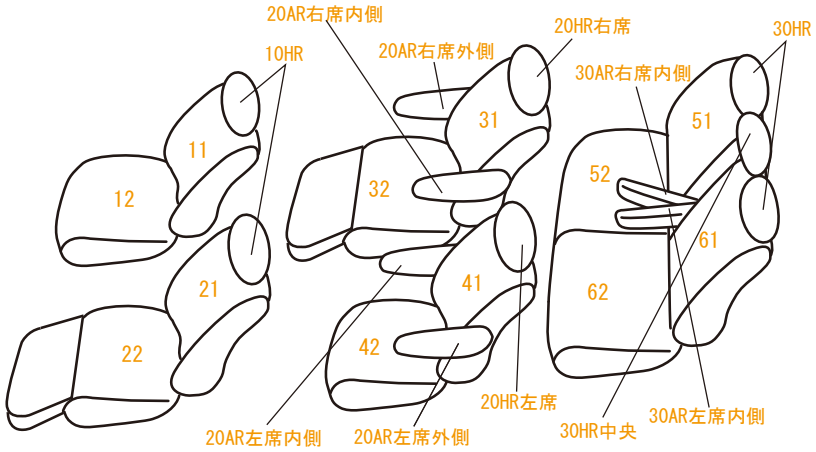
…> 05-30

シートカバーの装着方法

…> 31-32

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

当説明書は2018年1月8日発売開始の、マイナーチェンジ前のモデルを主に使用しています。固定方法は同様ですので、こちらを参考に装着を行って下さい。



- 1 始めにシート背面からシート裏に回っている生地を、図のように外します。生地はゴムでシート裏に引っ掛けて固定されています。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 2 1番の生地をめくり上げた内側に、シート裏で黄色のサイドエアバッグの配線がマジックテープで固定されています。マジックテープを外して、配線をシート外側の端へ寄せておきます。



- 5 配線部分に注意して、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 3 シートを一番高い位置まで上げてカバーの装着を行います。カバーを図の様に裏返して、シートのラインに合わせます。



- 6 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 カバー前側に付いているベルト3本を、シートとプラスチック部の隙間を通してシート裏から引き出します。



- 10 シートの内側も生地をプラスチック部に入れ込みます。



シートとプラスチック部のフチ部分

- 8 シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。生地が入り込みにくい部分はヘラなどを使用して入れ込んで下さい。



- 11 7番で引き出したベルトをシートの裏を通してシート背面側へ入れ込みます。この際シート裏にある配線や、金属部品の上にベルトを通すようにします。

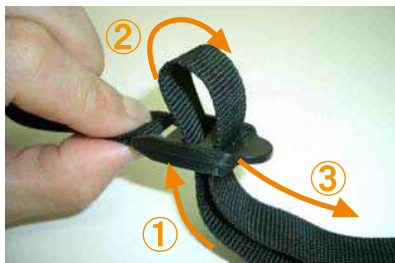


生地が入り込み部分

- 9 シート付け根の外側部分は隙間が大変狭くなっています。生地をプラスチック内側の矢印の方向へ向けて入れ込むことで、生地がきれいに入り込みます。



- 12 シートの背面からベルトを引き出します。引き出したベルトを5ページ5番で引き出した生地についているバックルを通して固定します。
※バックルの通し方は7ページ13番をご覧ください。



- 13 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



- 14 シート背面側は図のようになります。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
 ※シートを一番高い位置から下へ下げる際に、側面の生地が浮いてくる場合があります。その際はへらなどを使用して、浮いた生地を奥へ入れ込み馴染ませるようにして下さい。

助手席座面の装着方法



- 1 5ページ1番2番と同様に生地をめくり上げて、サイドエアバッグの配線を端に寄せます。オットマンを一番上まで上げた状態でカバーの装着を行います。カバーをオットマンの先端からシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3 配線部分に注意してシート背面から生地を引き出します。引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



- 4 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部のフチに入れ込みます。



- 7 フックを固定すると図のようになります。オットマン下周りの生地を内側へ巻き込むように整えます。



- 5 カバー内側面の生地をシートとプラスチック部のフチからさらに奥へ入れ込みます。シートのクッションを浮かしてフチの中を覗いてみると、矢印位置に突起している部分があります。その奥へ生地の手入れ込み固定します。



- 8 カバー前側の生地をシートのラインに合わせて、シートとプラスチック部のフチに入れ込みます。



- 6 オットマンの付け根辺りに付いているフックを、生地と共に180度向きを変えて、オットマン付け根のフチにはめ込み固定します。オットマン内側のフックも同様に固定します。



- 9 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



- 1 シート背面のアシストグリップ・バックボードを外します。始めにアシストグリップの図のキャップの隙間に、ヘラなどを差し込み、手前にゆっくり引くとキャップが外れます。プラスチックのヘラで外れない場合は、マイナスドライバーなどを使用して下さい。金属の工具はパーツに傷を付けやすいので、先端をマスキングするなどして作業は慎重に行ってください。



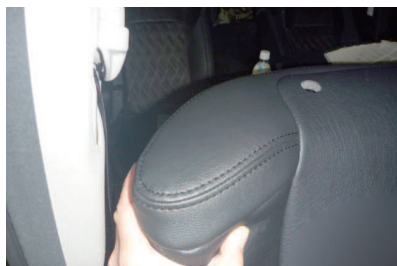
- 2 キャップの内側にあるボルトを外します。ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは10mmを使用します。左右2カ所外します。



- 3 ボルトを外すと図のようにアシストグリップが外れます。



- 4 図の①→②の順番に、バックボードの上側を手前に引いて裏のロックを外し、そこから持ち上げてバックボードを外します。



- 5 カバーをかぶせます。始めにシート肩口に生地がしっかりと馴染むように、シートに密着させていきます。



- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



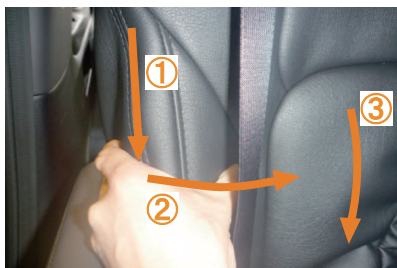
- 7 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



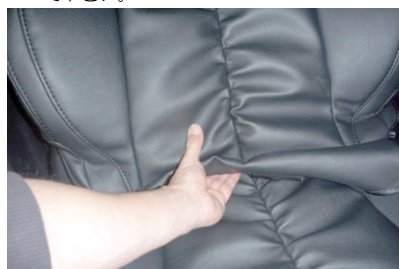
- 10 入れ込んだ生地をシート背面から配線部分をかきながら引き出します。



- 8 生地の伸びを利用して台座を取り出します。一部本革を使用している商品では、生地が裂けてくる場合があります。慎重に作業をしていただければ、台座の大きさに以上に裂け目は広がらないので、作業は慎重に行ってください。



- 11 カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中央へ集めるようにして馴染ませていきます。中央に集まった生地を10番と同様にシートの背面から引き出します。生地がシートに馴染むまで繰り返し行って下さい。
※図は2列目背もたれを使用しています。



- 9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。この際入れ込む生地にはフックが付いています。フックで生地を傷付けないように作業は慎重に行ってください。



- 12 10番で引き出した生地についているフックをシートに固定します。両端のフックを図のように、バックボードを外したシート背面の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 13 中央のフックはシート背面にあるダクトの内側を通して固定します。ダクト部分を手前側に引いて、その隙間からフックを通して純正のシート表皮を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



- 14 図ではダクト部分はめくり上げています。フックを3カ所固定すると図のようになります。



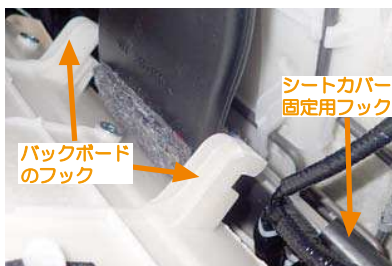
- 15 カバー背面の両端も、シート表皮を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けて固定します。（2カ所ずつ）



- 16 カバー背面の上側も、シート表皮を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けて固定します。（2カ所ずつ）



- 17 アシストグリップ・バックボードを固定する穴の部分、カバーの加工穴から出します。この状態でバックボードを元通りに固定します



- 18 バックボードをシートに戻します。バックボード下のフックを、金属フレームに引っ掛けます。この際シートカバー固定用フックの上にバックボードのフックを引っ掛けようとする、9ページ2番で外したボルトのネジ穴が合わなくなります。シートカバー固定用フックの両端部分をかなり内側に固定していない限りあり得ないのですが、バックボードを戻す際はご注意ください。



- 19 アシストグリップを戻す前にボルトのネジ穴が合っているかを確認します。穴位置に問題が無ければアシストグリップをシートに戻してボルトを固定します。



- 22 カバーのラインを整えて、1列目運転席の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 20 助手席側は内側面にパワーシートのスイッチがあります。スイッチのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 21 助手席側、内側面のパワーシートのスイッチ部分は図のようになります。

Step 3

…→ 2列目座面の装着方法

※サイドリフトアップチルトシート装着車の2列目助手席側座面の装着は、27ページからご覧ください。



- 1 オットマンを一番上まで上げた状態でカバーの装着を行います。オットマン部分からカバーをかぶせます。矢印の方向へオットマンの先端まで生地が張るように。しっかりとかぶせます



- 2 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 5 引き出した生地を直接シートにマジックテープで貼り付けて固定します。



- 6 シートの付け根部分です。シートのクッションを少し持ち上げるようにして隙間を作ります。その隙間にカバーの端に付いている固定部材を、シートを巻き込むようにして入れ込み固定します。内側外側共に行います。



- 7 カバー側面の生地をシートとプラスチック部のフチに入れ込みます。カバーのラインがシートからずれないように注意して、内側外側共に入れ込みます。



- 10 図の隙間から内側外側のゴムを、共に入れ込みます。



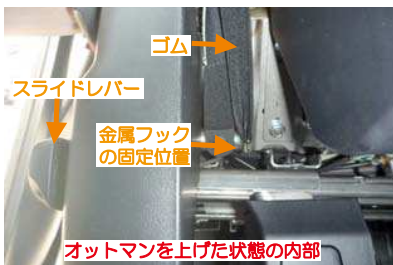
- 8 オットマン付け根部分の生地に幅の広いゴムが内側外側2本ずつ付いています。



- 11 オットマンを跳ね上げた裏側をシートの前側から見た図です。図には写っていませんが、入れ込んだゴムをオットマンの内側から引き出してゴム同士を矢印方向へ引っ張り、金属フックでつなぎ留めます。



- 9 オットマンに近い方のゴムに付属の金属フックを取り付けます。内側外側にゴムがありますが、片側のみ金属フックを取り付けます。



- 12 もう1本のゴムも9番同様に金属フックを取り付けて、オットマン付け根の内側にゴムを真っ直ぐに引っ張り、オットマン内部の金属部分に引っ掛けて固定します。図では固定位置が見えずらいですが、オットマンの動作に干渉しない位置に金属フックを固定して下さい。



- 13 オットマン付け根部分のプラスチック部に生地を入れ込みます。生地を入れ込む前に図のプラスチック部の内側にヘラなどを差し込むとツメが外れてプラスチック部が開きます。こうすることで生地が入れ込みやすくなります。



隙間が狭いので慎重に入れ込む

- 14 生地を入れ込んでいきます。図の点線部分にシートのラインに合わせて生地を入れ込みます。13番で開いたプラスチック部は生地を挟み込み固定します。生地を入れ込み過ぎるとツメがはまらなくなるのでご注意ください。



- 15 生地を全て入れ込むと図のように収まります。先端に生地が余る用だとカバーがシートのラインからずれている可能性があります。その場合はカバーの装着位置を再度調整して下さい。



ヘラが入り込む隙間部分
2列目オットマンには2カ所

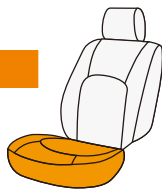
- 16 オットマン側面の生地裏に、図のような小さい部材が付いています。こちらはオットマンのフチに図のようにヘラが入り込む隙間が一部分のみあるので、その隙間に部材を入れ込みます。



- 17 ヘラなどを使用して部材を入れ込みます。入り込む隙間は本当に限られた位置にしかありません。カバーの装着や生地の引っ張り具合により、部材と入れ込む隙間の位置にずれが生じます。その場合はカバーの装着を調整して下さい。



- 18 部材はヘラなどを使用してしっかりと入れ込みます。これによりカバー側面の生地の浮きなどが抑えられます。



Step 4 ...> 2列目背もたれの装着方法

※サイドリフトアップチルトシート装着車の助手席側背もたれの装着は、29ページからご覧ください。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。
※サイドリフトアップチルトシート装着車の2列目助手席側座面の装着は、27ページからご覧下さい。



- 1 アームレストを10mmのソケットレンチを使用し外した後、背面のファスナーを開けた状態で、肩口のシートベルトをかわして、シートを包み込むようにカバーをかぶせます。



- 2 背面のファスナーを10センチ程度閉じておきます。完全には閉じてしまわないようにして下さい。



- 3 シート肩口のシートベルトが出ている台座部分のフチに生地を入れ込みます。



- 4** シートベルト台座部分は図のようになります。ヘッドレストの台座も加工穴から取り出します。



- 7** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 5** カバーをシート全体にかぶせます。始めにシート肩口に生地がしっかりと馴染むように、シートに密着させていきます。



- 8** カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中央へ集めるようにして馴染ませていきます。生地がシートに馴染むまで繰り返し行って下さい。



- 6** カバーのラインに合わせてカバーをかぶせて、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9** カバー背面のファスナーを内へ寄せながら慎重に閉じます。



10 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



13 助手席スーパーロングスライドシートのシート背面にあるレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



11 17ページ7番で引き出した生地とカバーの背面下を、マジックテープで固定します。



14 レバー部分は図のようになります。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。1列目助手席スーパーロングスライドシートの車は**13～15番**もご覧ください。
※サイドリフトアップチルトシート装着車の2列目助手席側背もたれの装着は29ページからご覧ください。



15 カバーのラインを整えて助手席スーパーロングスライドシート背もたれの完成です。

Step 5

…> 3列目運転席座面の装着方法

助手席側で説明を行っています



- 1 始めに外側に突起している箇所のシート部分にカバーをかぶせます。シートを少し斜めに跳ね上げると隙間が出来てカバーをかぶせやすくなります。シートの先端までしっかりとかぶせます。



- 2 1番の部分を軸にして、シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 シートを跳ね上げて、シート裏の脚の部分をかわすようにカバーをかぶせます。



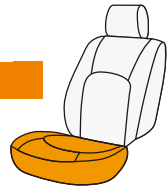
- 4 シートを車体側に固定してカバーのラインを整えます。シートベルトバックルが収納されている位置と、カバーの加工穴を基準に合わせるようにすると、正常なラインにカバーが装着できています。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。



- 6 シート外側面の付け根の生地を奥へ入れ込み固定します。



- 7 シート内側の角に、生地を引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 10 シート前側のレバー部分のフチに、中のネジを緩めて生地を入れ込みます。



- 8 19ページ5番でシート背面から引き出した生地と、シート裏から引き出した生地をファスナーで固定します。生地同士を寄せ合い、ファスナーを慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 11 シートベルトバックル収納部にカバーの加工穴と位置を合わせて、フチに沿って生地を入れ込みます。入れ込んだ生地をマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。収納部後ろ側の生地の内側に、ゴムが付いています。ゴムは2個あるシートベルトバックルを一緒に通して、バックルの根元まで入れ込みます。こうすることで、生地が浮かないように抑えられます。



- 9 シートを跳ね上げた際に車体側に固定するバックルをカバーの加工穴に通します。



- 12 カバーのラインを整えて、3列助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けます。

Step 6

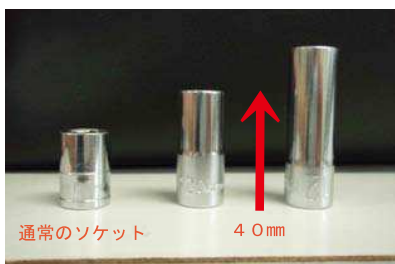
…→ 3列目背もたれの装着方法



- 1 アームレストを外します。図のプラキャップをへらなどを使用して外します。



- 4 カバーを図のように半分程裏返して、シートの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2 こちらのアームレストを固定しているナットは、通常のソケットでは届きません。長さが40mm以上あるソケットを使用して下さい。



- 5 アームレスト装備車は、アームレストを外した後の軸部分が突起しているため、カバーをかぶせる際に慎重に扱います。生地を引っ掛けたりすると、破れたり傷が付いたりするので、ご注意ください。



- 3 ソケットの長さが40mm以上あるものを利用して中のナットを外します。ソケットは12mmを使用します。ナットを外すとアームレストがシートから外れます。



- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



11 カバーのラインを整えて、3列目助手席側背もたれの完成です。
運転席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



9 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出して、カバーの背面下とマジックテープで固定します



10 シート背面は図のようになります。

Step 7

…→ ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの前後を確かめます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前側です。カバーを図のように半分程裏返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4 カバーの前後についているブラックを固定します。



- 2 ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等に引きおろし、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5 ブラックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むようにして入れ込み固定します。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 6 ヘッドレストの裏は図のようになります。※軸回りはヘッドレストカバーが装着しやすいように、予め大きめに開いています。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
1列目2列目のヘッドレストは、形状は異なりますが同様に取り付けます。

3列目両サイドのヘッドレスト



- 8 3列目両サイドのヘッドレストです。
こちらは先端部分から、矢印の方向へカバーをかぶせていきます。



- 9 マジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、平らなプラスチックが付いている生地のマジックテープと固定します。



- 10 1列目と同様にブラックを固定します。
ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 11 カバーのラインを整えて、3列目サイドヘッドレストの完成です

3列目中央ヘッドレスト

3列目中央のヘッドレストは3列目床下のデックボード内に収納されています



- 12 3列目中央のヘッドレストは、図のようにヘッドレストの角にカバーを引っ掛けて、全体にかぶせていきます。



Step 8

…> アームレストの装着方法

アームレストをシートに戻してカバーの装着を行います。

※シートに戻す前のアームレストにカバーを装着してしまい生地を馴染ませておくと、アームレストをシートに戻した際のカバーの装着が行いやすくなります。



- 14 カバーを全体にかぶせたら、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。



- 1 アームレストを半分程裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



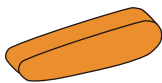
- 15 カバーのラインを整えて、3列目中央ヘッドレストの完成です。



- 2 アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



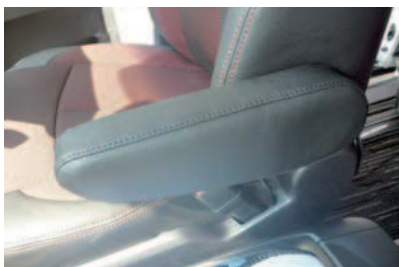
- 3 軸の部分にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。



- 4 軸部分の生地をヘラなど使用してしっかりと入れ込みます。



- 5 アームレストを起こして、軸部分の生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

形状は異なりますが、7人乗りの全てのアームレストは同様に取り付けます。

※アームレストの軸にカバーを引っ掛ける際、生地が伸びて後ろで生地が余っている場合があります。そのような場合は、生地を前側に馴染ますようにしてカバーのラインを整えて下さい。

Step 9

2列目助手席側座面（サイドリフトアップチルトシート）の装着方法



- 1** 始めに、背面下部の純正表皮の固定を外します。純正表皮は、上生地をめくった箇所にある4個のボタンで固定されています。



- 2** シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4** フットレストを倒し、カバー前側の生地に付いているマジックテープを巻き込むようにして、シートに直接貼り付けて固定します。貼りつける際、生地先端が奥の隙間に少し入り込むようにして下さい。



- 5** 3番で入れ込んだ生地を、カバーがピンと張るまでしっかりと引き出します。



- 6** 引き出した生地に付いているマジックテープを、純正表皮に直接貼り付けて固定します。



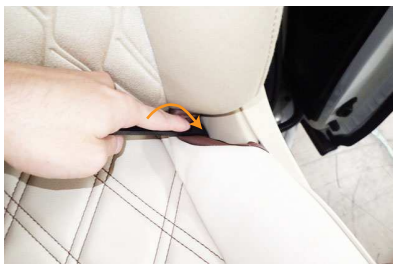
- 7** ヘラ等を使用し、カバー両側面に付いている固定部材を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。この時、固定部材が付いていない前後の生地も一緒に入れ込むようにして下さい。



- 10** カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面（サイドリフトアップチルトシート）の完成です。



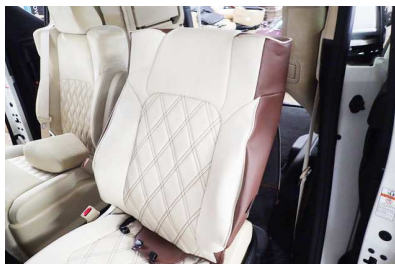
- 8** 内側面の固定部材を入れ込んだ後の図です。



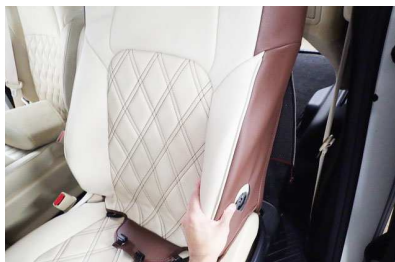
- 9** カバー両側面の付け根付近に付いている生地を、シートと軸部分の隙間に入れ込みます。

Step 10

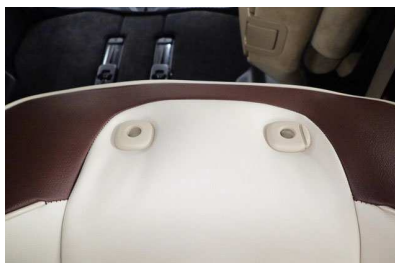
2列目助手席側背もたれ（サイドリフト アップチルトシート）の装着方法



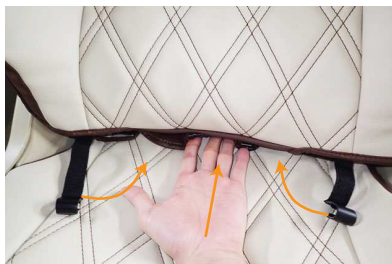
- 1** アームレストを10mmのソケットレンチを使用して外した後、両側面に付いているファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 2** カバーをシートに馴染ませます。この段階ではしっかりと馴染ませる必要はありません。



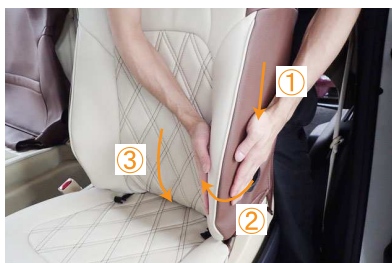
- 3** カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。



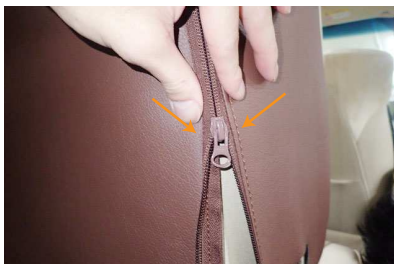
- 4** 背もたれと座面の隙間に、フック状の固定部材の付いた生地とベルトを入れ込みます。両サイドの隙間は非常に狭いため、中央部を通すようにして下さい。
※入れ込む際、固定部材でシートを傷つけないようにご注意ください。



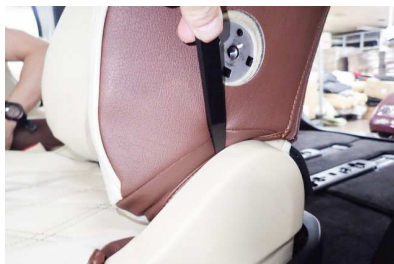
- 5** 入れ込んだ生地とベルトを背面側から引き出します。



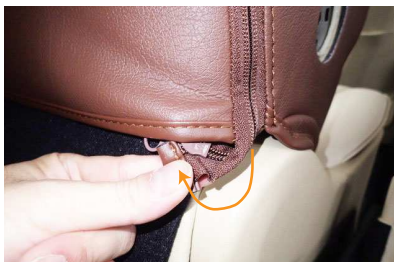
- 6** カバーをシートに馴染ませます。図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を5番と同様に背面側から引き出します。



7 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。閉じた後の余った部分はカバーの内側へ入れ込みます。



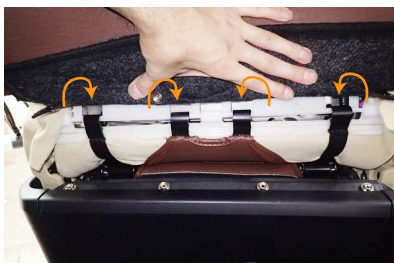
10 ヘラ等を使用し、両サイドのシートの軸部分に生地を入れ込みます。



8 ファスナーの端は、カバーの内側へ入れ込んで下さい。



11 カバーの加工穴と、シート内側面のボタンの位置が合っている事を確認して下さい。位置が合っていない場合は、カバーを馴染ませ直して、位置を合わせて下さい。



9 29ページ5番で引き出した生地とベルトに付いているフック状の固定部材を、27ページ1番で外した生地裏にあるプラスチックの穴部分に引っ掛けて固定します。
※図は全て引っ掛けた物です。



12 27ページ1番で外した純正表皮の固定を元に戻し、カバーのラインを整えると、2列目助手席側背もたれ（サイドリフトアップチルトシート）の完成です。

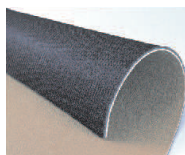


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816